

ジェイリース1部上場 東証、県内企業3社目

【東京支社】家賃債務保
証業のジェイリース(大分)
株式の上場市場を東京証券



東証1部上場を記念して鐘を打ち鳴らす中島拓社長(中央)ら=13日、東京証券取引所

取引所のマザーズから同取引所の第1部に変更した。東証1部に上場する県内企業は3社となった。

同日、日本橋兜町の東証でセレモニーがあった。上場通知書の贈呈式に続き、中島社長ら役員は上場時の恒例として鐘を計5回打ち鳴らした。

中島社長は「1部上場は大変、身の引き締まる思い。消費者に一番近く、信頼される家賃債務保証会社を目指し、人材開発に力を入れながら、100年企業にしていきたい」と話した。

同社は2004年の創立。核家族化や少子高齢化で賃貸住宅入居時の連帯保証人の確保が難しくなっていることなどを背景に業容を拡大し、16年6月にマザーズに上場した。現在、全国各地に24店舗を展開。今後3年間でさらに15店舗増やす予定にしている。